



位置・概要

小田原市概要



市域面積：113.81km²
人口：192,856人
(平成29年4月末現在)

【概要】小田原「駅・城」周辺のお城通り再開発、市民ホール整備、小田原城整備で地域の集客力をアップ、板橋・南町地区の「邸園の文化」を生かして交流空間を拡大、早川地区の「漁港・一夜城」まで広がる観光交流の促進で「地域の稼ぐ力」を高めることにより、交流の拡大と空き家・空き店舗の解消など地域活性化を図る賑わいと交流のコンパクトシティを目指す。

【官民連携対象】万葉倶楽部(株)、小田原かまぼこ通り活性化協議会、板橋まちなみファクトリー など

お城通り地区再開発事業
ホテル、商業施設、図書館、子育て支援センター、観光バスターミナル、広場整備

歴史的建造物民間活用コーディネート事業
歴史的資源を生かすエリアプランニング・民間事業者利用へのマッチング

皆春荘を活用した公園整備

清閑亭管理運営事業

共済亭(山月)

皆春荘

松永記念館

旧内野醤油店

親水散策路整備事業(小田原用水)

箱根板橋駅

旧街道筋横断電線地中化事業

歴史まちづくり地域連携推進事業
板橋・南町(西海子通り)周辺の回遊向上



凡例
 事業実施箇所 (赤線)
 ハード事業 (青線)
 地区範囲 (青点線)
 ソフト事業 (黄点線)
 関連施設等 (緑点線)

実施内容

主なハード事業



市民ホール(左)、お城通り地区再開発事業(右)



小田原城址公園整備事業



板橋・南町地区の歴史的建造物の整備活用
皆春荘(左)、旧松本剛吉別邸(右)

主なソフト事業



地元住民による地域のなりわいを生かしたイベントの開催



空き家・空き店舗の活用
(地域のなりわい、まちなか再生支援事業)



歴史的建造物の民間による活用をマッチング

目標設定

観光客消費額

約172億円/年⇒約191億円/年
(H30) (H32)

小田原駅乗車人員数

約3,500万人/年⇒約3,532万人/年
(H30) (H32)

板橋・南町地区の 主な歴史的建造物施設の入館者数

約3.6万人/年⇒約5万人/年
(H30) (H32)

かまぼこ通り・銀座竹の花通りの 空き家・空き店舗の活用件数

0件 ⇒ 10件 活用
(H30) (H32)

H34入込観光客数700万人を目標

5年後には空き店舗「0」を目指す